

東京都千代田区における 園内研修支援の取り組み

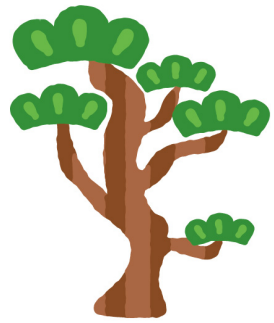
淀川裕美

東京大学大学院教育学研究科附属
発達保育実践政策学センター 特任講師

本日の内容

1. 千代田区の概要・現状
2. （主に私立園の）園内研修を支える取り組み
3. 園内研修の実際
4. 今後の課題

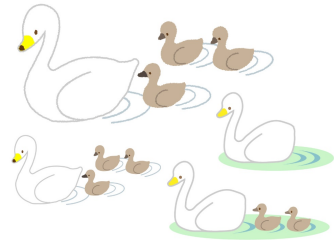
1. 千代田区の概要・現状



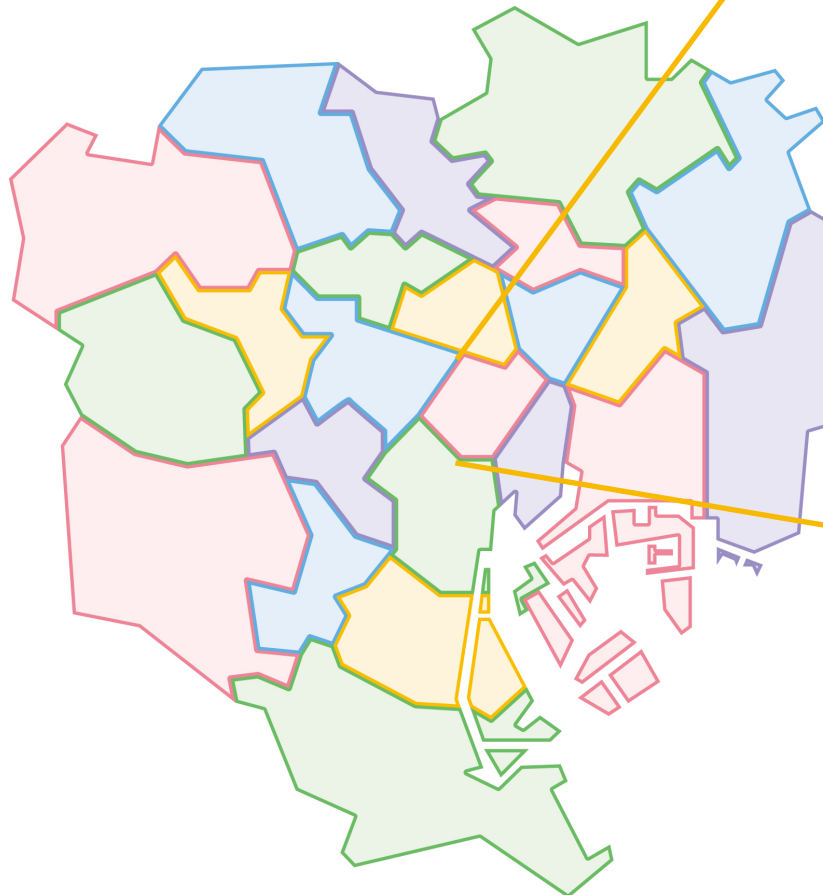
区の木「まつ」



区の花「さくら」



区の鳥「はくちょう」



麹町地区

神田地区



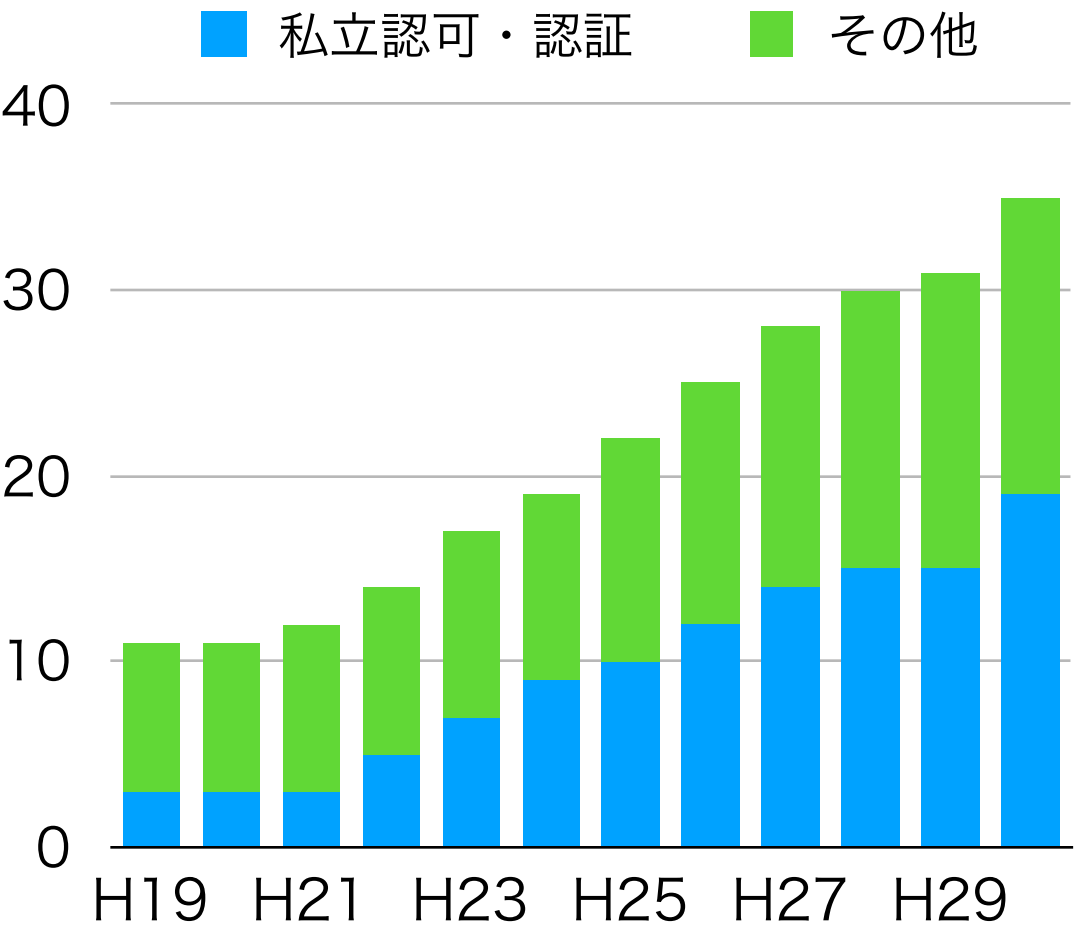
皇居, 東京駅, 永田町, 霞ヶ関, 神田, 秋葉原, 御茶ノ水…
江戸開府以来400年以上の歴史・文化

人口

項目	平成27年10月1日現在
昼間人口	853,068人
夜間人口	58,406人
世帯数	33,262世帯

国勢調査より

平成30年11月時点で
住民基本台帳人口 63,401人（35,723世帯）



園数

種 別	平成30年 4 月	
	園数	定員数
区立幼稚園	4	405
幼保一体施設	2	195
区立こども園	2	346
区立保育園	4	416
私立認可保育所・認定こども園	9	825
認証保育所	10	312
緊急保育施設	1	40
区補助対象保育室	2	66
小規模保育	1	10
家庭的保育	2	10
事業所内保育	2	10
居宅訪問型保育		25
合計	39	2,665

保育の質の確保・向上が中心的課題のひとつ

千代田区では

私立の認可保育所・こども園・認証保育所

- ・物的・人的環境の脆弱さ（ビルの中にあり園庭がない，ビル管理会社の設備に関する規則が厳しい，離職率の高さ等）
- ・新設園が多く，若手の保育士が多い（&離職率が高い）ため，保育の実践知の伝承が起こりにくい
- ・企業の方針と保育士との間で，園長が孤立しやすい（主任が不在の園もある）

公立の認可保育所・こども園

- ・公立ならではの難しさ：保育者の多さ，職員の定期的な異動→保育者間の連携やビジョンの共有，変革の難しさ

2. (主に私立園の) 園内研修を支える取り組み

巡回指導員（子育て推進課主任＝退職園長）による

- ① **アポイントなしの巡回**（平成25年度開始，月一回以上）で園の職員と対話し，悩みを聴き，良さを認め励ましながら，課題を見出す
- ② **体験保育・施設見学**※1を実施し，他園の保育を知ることで，園／保育者に必要な気づき・学びを支える
- ③ 巡回園の課題をふまえて**園外研修**を実施し，そこでの学びを園内研修に繋ぐ
- ④ **外部の専門家**を園内研修の講師として招き，対話や振り返りの機会を設ける
- ⑤ **巡回**による園内研修・園外研修の定期的なフォロー：クラスや園の変化を言語化し，悩みを聴き，良さを認め励ます（→ ①へ）

※1 体験保育：1日他園のクラス担任を経験（1クラス2名まで）。施設見学：全クラスを見学。巡回指導員と一緒に周り解説。学んだことを回収整理し「巡回だより」で区の園全体にフィードバック。参加者・受入園双方のニーズを考慮しマッチング。6月と9月の年2回開催。

アポなしの
巡回

信頼関係の構築
悩みを聴く

園外研修

園外研修での学びを
自分ごとにする

アポなしの
巡回

課題の把握

園内研修

フォローアップ

課題に関連して
他園から学ぶ

体験保育
施設見学

課題に応じた研修

外部の専門家



(3回連続研修)

3. 園内研修の実際

巡回によって見出された課題

保育を語り合う時間の確保, 関係性構築 (特に, 私立=株式会社立の園)

園内研修への意欲・必要性の認識を引き出す

保育に関する考えやビジョンの共有

- リスク・マネジメントについて

巡回・園内研修：新保庄三先生（日本保育者支援協会）

巡回：猪熊弘子先生・寺町東子先生（日本保育者支援協会）

- 子どもが安心して過ごし, 夢中になって遊べる環境構成について



園内研修： 発達保育実践政策学センター（Cedep 野澤・淀川）

Cedep園内研修実施園

平成29年度 私立の認可保育所・こども園・認証保育所 計5園

平成30年度 私立の認可保育所・こども園・認証保育所 計3園

公立の認可保育所・こども園 計4園

園内研修の目的

① 保育を語り合うこと

思いや悩みを出し合い，保育をともに考え支え合える関係性の構築

② 語り合いを通して振り返りを深めること，同じ方向を向くこと

園内研修の構成

1回目：日々の保育における悩みや困り，工夫の共有，互いの思いの確認

2回目：具体的な事例から保育を振り返り，フィードバック

3回目：具体的な事例へのフィードバック，現状の環境構成の再考

巡回指導員による園内研修の前・中・後の支援 ※1

1. 巡回から見出された課題を，事前に外部の専門家 ※2 と共有，
研修の内容や方法をあらかじめ外部の専門家と相談
2. 研修当日の園見学中の解説（外部の専門家の理解を深めるため）
3. 研修の目的を園長・職員に伝える
4. 園内研修中の職員の参加の様子を把握
5. 研修後，外部の専門家と研修の振り返り
6. 後日，アンケート回収
7. 次回の研修までの課題のフォロー（巡回時）

※1 この園内研修の実施は，財政的バックアップにより可能となっている

※2 園内研修に外部講師を招いたのは，多くの私立園（株式会社立）の自発的な園内研修実施があまり見られなかったため。何度か経験し，保育を語り合うことの面白さ・必要性を認識してもらい，いずれは自律的に園内研修や専門性開発に取り組んでもらえることを期待している。実際，園内研修を経て，保育の質向上の取り組みが充実した園も複数園ある。

Cedep園内研修実施園の保育者の感想（抜粋）

「もう一度保育を見直したい。他のクラスのがんばりを見て、もう少し環境も整えていきたいと感じた。クラスでも話し合っていきたい。」
（担任）

「普段、担任の話を深く聞く機会が少ないので、改めて悩みや不安等を知る良い機会になった。」（主任）

「今まで一斉保育を経験している保育士たちにとって、子ども主体の子どもを見つめる保育に変えていくための、とても良い研修になったと思う。指示ばかりではなく、子どもたちに考えさせたり、子どもから学ぶことの大切さを再認識できたのではないかと思う。」（園長）

「園内研修を実施するための、時間の調整が難しい。」 「午睡中に行うので、午睡時の職員体制の確保を考えるのが難しい。」（園長）

4. 今後の課題

- 良い方向に変化があっても、翌年度に継承されない場合
- （主に私立）園の自律的な園内研修実施の支援
- （公立園も含め）園の課題の自覚化・共有の支援
- 園内研修を支える取り組み（巡回中の対話，体験保育や施設見学，園外研修への参加等）の充実...（公私ともに）参加してほしい園ほど，保育者を派遣しない現状
- 巡回指導員の専門性の継承（新しい巡回指導員の育成，取り組みの質の維持，これまでの取り組みの整理・発信）

ご静聴ありがとうございました

千代田区Cedep園内研修実施・取り組みの整理発信に関わる方々

千代田区教育委員会事務局子ども部子ども支援課・子育て推進課

加藤伸昭（子ども支援課長）

大森千珠子・福田裕子（子育て推進課主任＝巡回指導員）

東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター

野澤祥子・淀川裕美（Cedep）

宮田まり子（白梅学園大学／Cedep協力研究者）

